

春の公民館講座

公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

【春の植物ウォッチング「芦屋庭園都市づくりに向けて...」】
北山緑化植物園、東多福山周辺などを講師と一緒に歩きます。
日時...5月17日～5月31日(全3回)月曜日、午前8時50分～正午頃 定員...30人
講師...環境カウンセラー・近藤浩文氏ほか 受講料...1,000円 申し込み...往復はがきに、講座名 住所 氏名 電話番号 年齢 性別を記入し、5月7日(金)までに公民館へ。
【広報係さん、いらっしやい講座<初心者編>】
Wordを使った広報物を作成します。
日時...5月28日～7月2日(全6回)金曜日、午前9時30分～11時30分 対象...自宅にインターネットに接続できたパソコンを持ち、文字入力のできるかた 定員...18人
会場...市民センター217室 受講料...6,000円 申し込み...往復はがきに、講座名 住所 氏名 電話番号 年齢 性別を記入し、5月14日(金)までに公民館へ。

【パソコン入門講座】
文字入力のできるかたが対象で、内容はワードの基本操作を学びます。
<C-1コース>
日時...6月14日～7月12日(全5回)毎月曜日、午前10時～11時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円
<D-1コース>
日時...6月14日～7月12日(全5回)毎月曜日、午後1時～2時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円

【中級のパソコン講座】
<C-2コース>
日時...6月16日～7月14日(全5回)毎水曜日、午前10時～11時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円
<D-2コース>
日時...6月16日～7月14日(全5回)毎水曜日、午後1時～2時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円
<C-3コース>
日時...6月17日～7月15日(全5回)毎木曜日、午前10時～11時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円
<D-3コース>
日時...6月17日～7月15日(全5回)毎木曜日、午後1時～2時50分 定員...16人
会場...市民センター217室 教材費...1,500円

パソコン講座の申し込み 往復はがきに、希望コース(第2希望があれば記入)・住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、5月20日(木)<消印有効>までに公民館へ。

親子サッカー・ラグビー教室参加者募集

総合公園の完成を記念し、宝くじの普及広報事業として、親子サッカー・ラグビー教室を開催します。芝生に触れ、スポーツを楽しんでください。
【サッカー教室】 日時...6月12日(土)午後1時～3時/コーチ...日本サッカー協会日本代表フィジカルコーチ・里内猛氏ほか/定員...親子100組(幼稚園児・小学生児童)
【ラグビー教室】 日時...7月11日(日)午前10時～正午/コーチ...日本ラグビー協会普及育成委員・大八木淳史氏ほか/定員...親子100組(幼稚園児・小学生児童)

申し込み 往復はがきに、郵便番号・住所・親子氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号を明記し、返信用はがきに住所・氏名を記入して5月25日(火)<必着>で下記へ。
いずれも応募者多数の場合は抽選。応募者全員に結果を通知します。

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065(〒659-8501 精道町7-6)

5月 テレビ 広報ガイド

芦屋市広報番組	あしや30 min.	放送時間(30分)
芦屋市政キララ!	「どうなる行革 美術博物館」	8:00
・その他のニュース	ラポルテ市民サービスコーナー・市民参画課ほか	11:30
・広報トピックス	さくらまつり・芦屋マダン・ライブラリーコンサート	16:00
世界の童謡(モロッコ)	「モロッコの子もりうた」	19:30
ミニ特集	歯のなはし「6歳白歯」・歯の健康フェスタ	22:30
市民の時間	「街の安全は自分たちで～浜町メンズクラブ～」	VTRの貸出可
イベント案内	美術博物館の催し・女性センター映画会	

5月20日は「J-COMプレビューデー」のため、の放送はありません。
番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

芦屋川カレッジ公開講演 「私とクリエイション」 by コシノヒロコ

デザイナー一家のコシノ家、その想像力を育てたものは? 家族への思い、関西文化への思いを、芦屋在住のファッションデザイナー・コシノヒロコ氏が熱く語ります。参加自由の催しです。お気軽にご参加ください。

日時 5月14日(金)午前10時～11時30分
会場 ルナ・ホール
定員 先着500人

問い合わせ 公民館 ☎35-0700

ルナ名画劇場 『砂の器』

迷宮入りと思われた殺人事件を捜査する刑事の執念と、暗い過去を背負うがため、命の恩人さえ殺害しなければならなかった犯人の深く悲しい宿命を描く。松本清張原作、昭和49年に公開され、話題となった作品を、ニュー・プリント版でお贈りします。

日時 6月18日(金)<上映時間2時間25分>
午前10時 午後1時 4時 7時
会場 ルナ・ホール<全席自由>
出演 丹波哲郎、加藤剛、森田健作、緒形拳、佐分利信、瀧美清 ほか
料金 前売・900円 当日・1,300円
小学生～高校生(当日券のみ)・700円
チケット発売所 モンテメール大奮、市役所売店、文化振興財団事務所

60歳以上のかた、障害者のかた、この記事持参のかたは、当日1,000円でご鑑賞いただけます。満員の場合は、入場を制限させていただきます。ご了承ください。

問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

のじきく兵庫国体

問い合わせ 国体準備室 ☎38-2056

キャンベーションソングが完成 国体実行委員会、国体のキャンベーションソングを制作しました。作詞・作曲は、同委員会職員が手がけ、神戸市在住のアーティスト・こいみどりさんが歌っています。「花花」をアレンジしたババ・グリスさんが編曲し、明るく楽しいリズムの歌は、果の「のじきく兵庫国体」ホームページから無料ダウンロードでき、携帯電話でアクセスすれば着メロとして、また楽譜も取り込めます。

7月には、この歌に振り付けをした「はばタン・ダンス」が発売され、今後はこの曲・ダンスを普及するため、CDの貸出しや講習会、各種イベント等で紹介していく予定です。

静岡国体が芦屋の選手が大活躍! 昨年、静岡県で開催された国体に、芦屋市在住の選手が出場し大活躍しました。紹介します。敬称略。高校名は本年三月現在。

カヌー 森本智恵 (尼崎市・県芦屋南高)
サッカー 瀧原直彰 (高浜町・津川第二高) 吉村江利 (伊勢町・東洋体育館) 立花美奈子 (朝日町・K Line)
軟式野球 松本直之 (大東町・県芦屋高) 池上貴也 (神戸市・県芦屋高) 福富由梨 (三奈町・県芦屋高) 高里枝 (神戸市・県芦屋高) 三島千尋 (神戸市・県芦屋高) 古野真也 (浜風町・育英高) 谷瀬俊洋 (清水町・育英高)

人権特集

プロフィール

佐野 俊和 氏

昭和25年生まれ。ヒューマンフェノメナ(H.P)研究所所長。公立小中学校スクールカウンセラー。立命館大学(心理学専攻)卒業。臨床心理士。心理療法家。現・山手中学校カウンセラー。



講演会 「隣にいる外国人からのメッセージ」

～ともに生きる社会をめざして～

日時 5月20日(木)午後2時45分～4時15分
会場 市民センター401室
講師 兵庫県立濱川高等学校教員・方政雄(バン ジョンウン)氏
申し込み 直接会場へ 託児・手話通訳あり

問い合わせ 人権教育推進協議会(生涯学習課内) ☎38-2091



相談を受ける中で痛切に感じることは、どんな子どもでも、家族や身近な人の受け入れや対応がうまくかみ合っていないこと。大きな助けになり得るということ。

注意欠陥多動傾向の子どもの特長に「多動傾向」は、思春期入り口辺りの年齢になれば自然に治まることも多いようです。今すぐしつけなければと常軌的に叱って育てると、自尊心の低い子どもになってしまいかねません。多動傾向には、むしろ動くことが許される状況を作ってみることも大切です。

そうしてうまく育つと、独創性のある有能な社会人になる場合が多いといわれています。つまり、子どもの特徴を理解し、それに応じて養育行動を工夫すれば、うまくいく可能性があるとされています。

当然のことですが、どんな子どもでも活動性の多少があり、生まれ持った性格があり、得意なことがあり、その子独特の興味のある方向があり、知的活動や情動活動のあり方(「その子なり」)があります。それを理解し、そこから出発し、子どもの良いところを生かす方向で、親が「自分なりの育て方」を見つけていくことが、うまくいく子育てなのではないかと考えています。

「子どもについて必要なこと」

相談を受ける中で痛切に感じることは、どんな子どもでも、家族や身近な人の受け入れや対応がうまくかみ合っていないこと。大きな助けになり得るということ。

注意欠陥多動傾向の子どもの特長に「多動傾向」は、思春期入り口辺りの年齢になれば自然に治まることも多いようです。今すぐしつけなければと常軌的に叱って育てると、自尊心の低い子どもになってしまいかねません。多動傾向には、むしろ動くことが許される状況を作ってみることも大切です。

そうしてうまく育つと、独創性のある有能な社会人になる場合が多いといわれています。つまり、子どもの特徴を理解し、それに応じて養育行動を工夫すれば、うまくいく可能性があるとされています。

当然のことですが、どんな子どもでも活動性の多少があり、生まれ持った性格があり、得意なことがあり、その子独特の興味のある方向があり、知的活動や情動活動のあり方(「その子なり」)があります。それを理解し、そこから出発し、子どもの良いところを生かす方向で、親が「自分なりの育て方」を見つけていくことが、うまくいく子育てなのではないかと考えています。

母親の立場でいうなら、常に温かく優しい母親、という伝統的な常識から時に自由になり、母親自身が自分の人生を十分に生きるということも必要ではないかと思われま。それは専業主婦であっても同じことだと思えます。できない時に無理をしても、結局、子どもには良いものは伝わりません。むしろ、手助けを求めた方が、子どもにとって良いことも多いでしょう。近在する親戚、友人、クラブチームの監督、保育所、学校の先生、カウンセラー、子育て相談機関などから、手助けの性質に応じて支援を借りることが、核家族化しては必要ではないでしょうか。

スクールカウンセラーから見た親子関係

5月1日から7日は、憲法週間です。この週間にちなみ、「日本国憲法」ですべての国民に保障されている私たちの「それぞれの人権」について考えてみませんか? 人権とは、私たちが社会生活において幸福な生活を営むために必要な固有の権利です。しかし近年、物質的な豊かさのみを追い求め、心の豊かさを育むことが忘れられ、自己の権利のみを主張し他人の人権を軽視する傾向が見られます。その結果、数多くの人権侵害事件が発生し、人権問題は深刻な状況にあります。今回は、スクール・カウンセラーの佐野先生の日々の相談の中から「いま学校や家庭のなかで起きている子どもたちのさまざまな人権にかかわる問題」について検証し、私たち一人ひとりが「思いやりのある行動」とは何かを考えたいと思います。

問い合わせ 生活環境部人権推進担当 ☎38-2055

「学校に行きたいけど行けない」、「教室に入りたくない」という不登校傾向の子どもは、相談件数のうち、保護者からの相談が大動向。生徒からの相談は半数がそうでした。乱暴などの反社会的な問題行動をする生徒への相談件数は比較的少なかったのですが、一人一人という生徒がいるとずっと気に置まり、大きな存在として意識されます。

家族関係の大きな変化が不登校の引き金に

カウンセラーとして相談を受けた中で、子どもの不登校と家族関係について聞いたことを述べます。不登校傾向の子どものいる家庭では、父親の気持ちや家庭や子どもに向いていない、あるいは家族の心の機微を理解することが苦手ということが多いようです。お母さんの方は、真面目にその問題に取り組みむ方が多かったという印象です。俗にいう「お母さんの「過保護」「過干渉」といことは、そういう場合も時にもあつてい程度でした。

そうした家庭の夫婦関係は、良い関係だと感じられる場合もありましたが、関係が希薄だと思えることが比較的多かつたように思えます。夫婦間がそういう状態であることが子どもに何らかの影響を落としていると感じられることは多いのですが、大きな要因であるかどうかは、判断しないことも多かったと思います。むしろ印象深かったのは、家

友人間で、仲間外れにされたとか、いじめられたという相談も多くあります。また、保護者からは「親子関係がうまくいかない」という相談も多くあります。こうした表面に現れた問題の背景には、さまざまなもの隠れていることがあります。

例えば、中学生で不登校や反社会的な行動をする生徒の中には、注意集中がうまくいかなかったり、じつ

家族関係の具体的な大きな変動、すなわち再婚、離婚、祖父母との同居、別居、それに転校が、不登校のきっかけになったり、不登校から立ち直るきっかけになったりすることがしばしば見られたことです。もちろんそうした事が、不登校とは関係のない場合が多いわけですが、親が決断してそうした人生の転機を迎える時、十分子どもにも配慮する必要があります。日本の文化構造や年齢、学校、自然災害など、さまざまな要因が関係しているようにも感じます。

家族関係でうまくいっていないことは、「力」の文化が支配している家庭が時にあり、それが子どもとの問題

【打出教育文化センター】
所在地: 打出小穂町15-9
☎38-7130 / FAX38-7843

【カウンセリングセンター】
所在地: 川西町15-3(体育館・青少年センター内)
☎23-5998 / FAX23-5999

【青少年愛護センター】
所在地: 川西町15-3(体育館・青少年センター内)
☎31-8229 / FAX22-1633

【子育てセンター】
所在地: 川西町11-10(精道幼稚園内)
☎ / FAX31-8006

【子育てホットライン】
☎ / FAX31-0611

相談日時・内容については、各相談機関にお問い合わせください。

特設人権相談所の開設

いじめ、いやがらせ、名誉毀損、信用問題等でお困りのかたに、人権擁護委員が無料でご相談に応じます。秘密は厳守します。

日時 5月11日(火)午後1時～4時
会場 市役所北館2階第2会議室
申し込み 事前下記へ<予約制>

問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055

公立小中学校にスクール・カウンセラー派遣事業が始まって今年度で十年目。私自身がカウンセラーとして学校に勤務するようになって、八年目になります。教育の世界に、別種の人間が正式に入ることの意義は大きく、「開かれた学校」という試みの一つが踏み出されたといえるでしょう。

いま学校で...。不登校にみる相談のいろいろ

相談に来られる中で最も多いのが「学校に行きたいけど行けない」、「教室に入りたくない」という不登校傾向のもの。相談件数のうち、保護者からの相談が大動向。生徒からの相談は半数がそうでした。乱暴などの反社会的な問題行動をする生徒への相談件数は比較的少なかったのですが、一人一人という生徒がいるとずっと気に置まり、大きな存在として意識されます。

友人間で、仲間外れにされたとか、いじめられたという相談も多くあります。また、保護者からは「親子関係がうまくいかない」という相談も多くあります。こうした表面に現れた問題の背景には、さまざまなもの隠れていることがあります。

例えば、中学生で不登校や反社会的な行動をする生徒の中には、注意集中がうまくいかなかったり、じつ

家族関係の具体的な大きな変動、すなわち再婚、離婚、祖父母との同居、別居、それに転校が、不登校のきっかけになったり、不登校から立ち直るきっかけになったりすることがしばしば見られたことです。もちろんそうした事が、不登校とは関係のない場合が多いわけですが、親が決断してそうした人生の転機を迎える時、十分子どもにも配慮する必要があります。日本の文化構造や年齢、学校、自然災害など、さまざまな要因が関係しているようにも感じます。

家族関係でうまくいっていないことは、「力」の文化が支配している家庭が時にあり、それが子どもとの問題

【打出教育文化センター】
所在地: 打出小穂町15-9
☎38-7130 / FAX38-7843

【カウンセリングセンター】
所在地: 川西町15-3(体育館・青少年センター内)
☎23-5998 / FAX23-5999

【青少年愛護センター】
所在地: 川西町15-3(体育館・青少年センター内)
☎31-8229 / FAX22-1633

【子育てセンター】
所在地: 川西町11-10(精道幼稚園内)
☎ / FAX31-8006

【子育てホットライン】
☎ / FAX31-0611

相談日時・内容については、各相談機関にお問い合わせください。